

製品名: DARPP-32 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09793**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP1R1B
別名	PPP1R1B; DARPP32; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 1B; DARPP-32; Dopamine- and cAMP-regulated neuronal phosphoprotein
遺伝子 ID	84152.0
SwissProt ID	Q9UD71
免疫原	抗血清はヒト DARPP-32 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

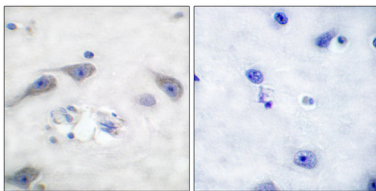
この遺伝子は二機能性シグナル伝達分子をコードしています。ドーパミン受容体およびグルタミン酸受容体の刺激によってリン酸化

が制御され、キナーゼまたはホスファターゼ阻害剤として機能します。ドーパミンの標的として、この遺伝子は神経疾患および精神疾患の治療標的となる可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011年10月]、機能: タンパク質ホスファターゼ 1 阻害剤。、PTM: ドーパミンおよびサイクリック AMP 調節性神経リン酸化タンパク質。、PTM: 活性には Thr-34 のリン酸化が必要。、類似性: タンパク質ホスファターゼ阻害剤 1 ファミリーに属する。、

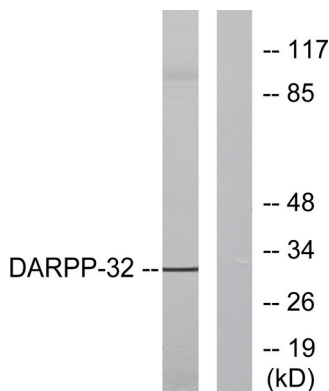
研究分野

神経科学

画像データ

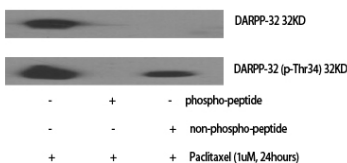


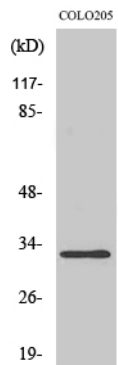
DARPP-32 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



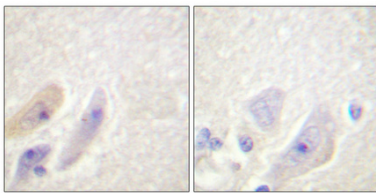
DARPP-32 抗体を用いた、EGF 200 ng/ml 30%処理した 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。

DARPP-32 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。





DARPP-32 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。